

山岳部 野性を感じとり、沢に癒され、室蘭の街を一望した室蘭岳。
(10月8日(土))

10月になり、寒さが一段と感じられる今日この頃、「皆さん元気ですか!?’(アトコを悼む)。高速道路を活用し、秋深まる室蘭の街を一望しに室蘭岳へと行ってまいりました。念入りに防寒対策をしていきましたが、予想に反する好天に恵まれた山行になりました。駐車場には多くの車。しかし、水元沢へのコースから入る登山者はほぼ我々だけだった様子。途中、コース外の林道に少し入り込み、白骨化した鹿の屍に出くわすという得難い体験も追加された。何度も渡渉を繰り返し、小滝や沢の流れに癒される。山頂が近づくと結構な急登が続くが、先に山頂に到着した登山者の鳴らす鐘の音が我々を招いてくれた。山頂からは、室蘭の街や海、周りの山々も良く見えた。西尾根コースからの下りでは、眼下の街の風景がより鮮明に捉えることができた。白鳥ヒュッテは、管理人の春日さんが引退し、保存会が維持管理を行っていた。下山後、車で白鳥大橋を渡り、室蘭温泉ゆららで入浴。満足感を胸に、すっかり暗くなった岩見沢駅に帰ってきました。



最初の渡渉を前に寄り道



鹿の屍



渡渉を繰り返す



山頂へ最後の急登



室蘭岳山頂



山頂からは室蘭の街が一望



保存会管理になった白鳥ヒュッテ